

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (成長・発達ユニット)
I. 倫理観とプロフェッショナリズム		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。		
2	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。 ●小児科 1) 生命倫理の概念を説明できる。	C 基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)
III. 医学および関連領域の知識と応用		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。		
1	人体の構造と機能 ●小児科 2) 小児の基準値を理解する。 3) 小児期での各臓器の特徴と機能を説明できる。 ●小児外科 1) 消化管の発生過程とその機能を説明できる。 2) 小児胸部・腹部外科手術における周術期生体反応を理解できる。	D 基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)
2	発達, 成長, 加齢, 死 ●小児科 4) 胎児期の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。 5) 胎児の生理的特徴とその異常を説明できる。 6) 胎内発育の程度を在胎期間と出生体重を加味して評価できる。 7) 乳幼児の生理, 保育法・栄養法の基本を概説できる。 8) 乳幼児・小児の正常の運動発達を説明できる。 9) 小児期の正常な精神発達について説明できる。 ●小児外科 3) 小児胸部・腹部外科手術の周術期管理を理解できる。	
4	病因と病態 ●小児科 10) 新生児期の代表的疾患を説明できる。 11) 小児の膠原病リウマチ性疾患を説明できる。 12) 小児アレルギー疾患の特徴を説明できる。	

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (成長・発達ユニット)	
13) 小児の免疫発達と感染症の関係を概説できる。 14) 小児期特有の感染症の症状・診断法・治療を説明できる。 15) 低身長の原因を挙げることができる。 16) 小児期糖尿病の特徴を説明できる。 17) 遺伝子異常の概念を説明できる。 18) 主な染色体異常症の症状を説明できる。 19) 主な先天性心臓疾患を列挙できる。 20) 発生異常を理解し、血行動態が説明できる。 21) 川崎病の症状が説明できる。 22) 代表的な小児神経疾患について説明できる。 ●小児外科 4) 日常診療で遭遇しうる小児外科疾患を説明できる。 5) 消化管の発生異常に基づく疾患を列挙しその病態を説明できる。 6) 胎児循環遺残を説明できる。 7) 新生児・乳幼児の病的黄疸を説明できる。 8) 悪性固形腫瘍の種類と頻度を説明できる。			
IV. 診療の実践			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。			
5	臨床推論により診断ができる。 ●小児外科 9) 腹痛を呈する小児・小児外科疾患を鑑別できる。 10) 緊急性の高い小児外科疾患を拾い上げることができる。 11) 新生児・乳幼児の病的黄疸を鑑別できる。 12) 小児期の腫瘍病理を理解できる。	C	基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)

ユニットコンピテンス	卒業コンピテンスに対する達成レベル (成長・発達ユニット)
<p>6 検査の必要性を判断し、検査結果を解釈できる。</p> <p>●小児科</p> <p>23) 先天性免疫不全症の診断を説明できる。</p> <p>24) 小児期特有の感染症の診断法を説明できる。</p> <p>25) 新生児救急疾患の診断から治療までの流れを説明できる。</p> <p>26) 急性白血病の診断を説明できる。</p> <p>27) 川崎病の診断について説明できる。</p> <p>28) 新生児マススクリーニングについて説明できる。</p> <p>29) 虐待の診断について説明できる。</p> <p>●小児外科</p> <p>13) 外鼠径ヘルニアの検査・診断・治療を説明できる。</p> <p>14) 肥厚性幽門狭窄症の検査・診断・治療を説明できる。</p> <p>15) 腸重積症の検査・診断・治療を説明できる。</p> <p>16) 小児虫垂炎の検査・診断・治療を説明できる。</p> <p>17) 新生児消化管疾患の診断から治療の流れを説明できる。</p> <p>18) 新生児横隔膜ヘルニアの検査・診断・治療を説明できる。</p> <p>19) 胆道閉鎖症および先天性胆道拡張症の検査・診断・治療を説明できる。</p> <p>20) 悪性固形腫瘍の診断と治療の流れを説明できる。</p> <p>21) 神経芽腫の生物学的特徴を説明できる。</p>	
<p>7 治療計画を提案できる。</p> <p>●小児科</p> <p>30) 以下の疾患の治療と予後について説明できる。</p> <p>①小児気管支喘息, ②食物アレルギー, ③先天性免疫不全症, ④小児期特有の感染症, ⑤急性白血病, ⑥川崎病</p> <p>●小児外科</p> <p>22) 小児胸部・腹部外科手術における周術期管理を説明できる。</p> <p>23) 新生児消化管疾患の術前・術後管理の要点を説明できる。</p> <p>24) 新生児横隔膜ヘルニアの術前後の管理法を説明できる。</p> <p>25) 乳幼児の発達過程に伴う急性腹症の病態を理解し診断治療を説明できる。</p> <p>26) 悪性固形腫瘍の診断と治療の流れを説明できる。</p>	
<p>V. 社会と医療</p>	
<p>千葉大学医学部学生は、卒業時に</p> <p>個人と社会のつながりを理解し、社会と医療の発展のために、以下のことができる。</p>	

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (成長・発達ユニット)	
5	<p>個人から地域・国際社会、地球環境に至るまでの保健・医療・福祉の課題を評価できる。</p> <p>●小児科</p> <p>31) 日本の小児保健の現状と問題点を説明できる。</p>	D	<p>基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)</p>